



佐藤 紘子さん
さと・こうこ 74

地域普及・特産品開発部長／世嬭の一酒造(株)専務取締役

名もない草が一関を救う可能性

建部清庵野草園での散策や摘み草を使った料理を通して、身近な「和ハーブ」を体験できます。道端の草が私たちの暮らしに新たな発見と感動を与えてくれることを期待しています。

もしかしたら、名もない草が一関を救ってくれるかもしれません。郷土の先人の知恵や教えを子供たちにも伝えていきたいです。



阿部 敏明さん
あべ・としあき 67

副実行委員長／花泉観光開発(株)代表取締役

ここでしか味わえない「食」を提供

花と泉の公園では、食べられる花「エディブルフラワー」のメニューを提供しています。園内で農業を使わずに育てたベゴニアやピオラなどを使用。人の手で丁寧に洗っているので、安心して食べられます。

エディブルフラワーを使った餅料理やスイーツ、こだわりのハーブティーもお勧め。ここでしか味わえない「食」をこの機会に味わってください。



小川 四郎さん
おがわ・しろう 70

イベント・広報宣伝部長／一関商工会議所・地域産業活性化支援員

地域の魅力をオール一関で表現

子供からお年寄りまで、ハーブを通して地元で頑張っている人がたくさんいます。ハーブを暮らしに取り入れた地域おこしの実現に向けて、まちの元気や一関らしさを発信する絶好の機会です。

サミットでは時の太鼓の演奏、交流会では大東高校の生徒による鹿踊りも予定しています。地域の魅力をオール一関で表現したいです。



多くの人が訪れたプレイベントの様子

プレイベントに多くの人が出 1月から市内各地でプレイベントが開かれています。長尾美恵子さんのハーブ教室やハーブと食用花の試食会などには多くの人が訪れ、サミット本番へ向けて盛り上がりを見せています。

実行委総務部長の佐藤育郎さん(69)は「一関ならではのハーブへの取り組みを発信したい」と意気揚々です。

飽食の時代といわれる今だからこそ、飢きんの時代を救った「四木一草」や「和ハーブ」に目を向けてみませんか。草木と共に生きることが、あなたの暮らしをより豊かにしてくれることでしょう。



柿、栗、ナツメ、桑、菜の花がデザインされたイベントロゴマーク。飢きんを救った建部清庵の思いが込められている

PICK-UP

四木一草・和ハーブとの出会い

6月24日(土)・25日(日) 一関でハーブサミット&フェスティバル

本庁商業観光課 ☎8413 / 藤沢支所産業経済課 ☎5317



建部清庵と四木一草 一関とハーブには、古くから深い関わりがあります。江戸時代、何度も飢きんに襲われた一関地方。飢えをしのぐため、毒草を誤って食べてしまった人々が次々と命を落としました。一関藩医の建部清

ハーブサミットが一関に 「第24回全国ハーブサミット in 一関・一関ハーブフェスティバル」が6月24日(土)・25日(日)の2日間、市内各地で開催されます。サミットの会場は藤沢文化センター、フェスティバルの会場は▼世嬭の一(一関)▼花と泉の公園(花泉)▼館ヶ森アーク牧場(藤沢)の3カ所。それぞれ趣向を凝らしたさまざまなイベントが行われます。

庵は山野草を研究。誰でも食べられる植物が分かるように挿絵を入れた救荒書「民間備荒録」や「備荒草木図」を著し、多くの人々を救いました。これが、日本独自の「和ハーブ」につながります。

また、清庵は「四木一草」の栽培を人々に勧奨。換金して年貢を納めることで食料を温存し、飢きんを乗り切るよう指導しました。四木一草とは、柿・栗・ナツメ・桑・菜の花のこと。菜の花は、本市の花となつていきます。これらのことから、一関は「和ハーブ先駆けのまち」ともいえます。

第24回 全国ハーブサミット in 一関 6/24(土)

◇場所…藤沢文化センター「縄文ホール」(藤沢町藤沢字仁郷12-5)
●和ハーブフォーラム&パネルディスカッション「ハーブスペシャリストたち、和ハーブを語る」(14:30～16:30)
●交流会(17:30～) *場所は花と泉の公園
☎藤沢支所産業経済課 ☎5317



エディブルフラワー・食のすすめ

◇場所…花と泉の公園(花泉町老松字下宮沢159-1)
●6月17日(土)～30日(日)…花フェス「四季の彩展」2017展示(9:00～17:00)
●24日(土)～25日(日)…いっしょに作るテラリウム作り体験(①10:00～②13:00～) ●25日(日)…和ハーブとまち食文化もち振舞い(10:00～11:30) ▶にぎわいマルシェ
☎花と泉の公園 ☎4066



一関ハーブフェスティバル 6/24(土) 25(日)

清庵の里を訪ねて

◇場所…世嬭の一(田村町5-42)
●24日(土)…絵手紙・絵本・写真展示 ▶摘み草寄せ植え展示
●25日(日)…清庵野草園散策(8:30～9:30) ▶摘み草摘み ▶清庵「紙しばい」 ▶摘み草料理 ▶関連商品販売
☎世嬭の一酒造(株) ☎1144



ラベンダーフェスタ

◇場所…館ヶ森アーク牧場(藤沢町黄海岸衣井沢山9-15)
●24日(土)…撮影会
●25日(日)…ラベンダーコンサート(10:20～14:30) ▶風薫る頃、ラベンダーと親しむ(15:00～16:30) ▶ラベンダー花とハーブのワークショップ ▶ラベンダー畑での摘み取り(有料)・販売 ▶ハーブ情報・製品・クラフトなどの展示・販売
☎館ヶ森アーク牧場 ☎5100



全国ハーブサミットって何だろう？



全国ハーブサミットは、ハーブの普及と地域振興を推進する大会です。ハーブのまちづくりに取り組む自治体などで構成するハーブサミット連絡協議会が主催。全国各地で開催されています。1992年の河口湖町(山梨県)を皮切りに、今年で24回目を迎えます。

Voice

橋本志津さん

はしもと・しづ 68



一関ハーブフェスティバル実行委員会実行委員長／(株)アーク取締役会長

ハーブで暮らしをより豊かに

古来から、香りと薬効で人々の生活や健康に役立っているハーブ。バジル、ミントやラベンダーなどの西洋ハーブだけではなく、ヨモギ、ドクダミやタンポポなど、生薬として日本で古くから受け継がれている山野草も「和ハーブ」と呼ばれるハーブの一種です。

ハーブは、暮らしを豊かにする素晴らしいもの。今回のイベントが、多くの家庭でハーブを取り入れるきっかけになってほしいです。